

事例に学ぶ食育推進と情報活用③

親と子で食を見つめる生涯学習



農業絵本シリーズ「そだててあそぼう」 アワ・ヒエ・キビの絵本

古澤典夫・及川一也編、沢田としき絵

世界中の古代文明で食べられていた雑穀、縄文人も食べていた雑穀、長寿を支えた雑穀など歴史や食文化から、栽培法、鳥・病害虫よけ、収穫・脱穀・精白、雑穀ごはんやキビだんご、アワもちの作り方で、楽しいイラストでわかりやすく解説。

●1890円



ダイズの絵本

国分牧衛編、上野直大絵

太陽ととも角度を変える葉の不思議。プランター栽培や摘芯の面白実験、枝豆でジンダモチ、豆腐や湯葉づくりまで。

●1890円



ソバの絵本 俣野敏子編、平野恵里子絵

三日に一枚葉がでて観察が楽しい野性的な育ち。葉のおひたし、粉ひきから本格手打ちソバ、ソバがらの染めものまで。

●1890円

このような、小学生や中学生たちの「農業」で重宝なのが「そだててあそぼう」シリーズである。
田んぼや畑では、農家の指導を頼りにしているが、皆々わかりやすく教えること

農業絵本 農家と子どもたちを結ぶ

車の粉挽き、そして蕎麦打ち、栽培から食べるまでの講座である。翌年からは、ヒエ、アワ、イナキビなど雑穀畑の見学や雑穀料理、大豆栽培から豆腐作りなど。それは、葛巻のような農村でも、スーパーから外国農産物などを何の疑問も

とが得意ではないので、このシリーズを農家と子どもたちの仲立ちとして活用している。
「ジャガイモの絵本」「ソバの絵本」「ダイズの絵本」など読んで栽培している

が、なにより具体的でわかりやすいのが良いと思っっている。
（佃わくわく食の探検隊は、小学生が対象です。幼児の場合は、親の同伴をお願いしています。指導は、いわゆる「普通の農家の人」です。とくに何かの資格もっていないということではありませぬ。農家組合や豆腐加工グループなど地域の様々な方々の協力をいただいて実施しています。
また、小学生のお世話、兼レク指導、兼遊び相手に、ジュニアリーダー「ドリーマー」の中学生が応援してくれています。
なお、昨年までは「わくわく森の探検隊」として、

田植の体験



参加者の募集は、公民館でチラシをつくり、学校を通じて配布しています。合わせて月2回発行の生涯学習情報誌「学びの森」でも周知しています。

農文協 〈食育〉の原点 風土に根ざした暮らしの文化

ふるさとの

家庭料理

★オールカラー

全国郷土料理図鑑

全20巻十別巻1 解説・奥村彪生

「日本の食生活全集」の姉妹編。料理ごとに巻編成。その地ならではの一品一品を、暮らしの「物語」とも収録。

【料理別編】各2500円 ● 挿画53000円

- ① すし なれずし
- ② 混ぜごはん かつめし
- ③ 雑炊 おこわ 寝わりごはん
- ④ そば うどん
- ⑤ もち 雑煮
- ⑥ だんご ちまき
- ⑦ まんじゅう おやき おはき
- ⑧ 漬けもの
- ⑨ あえもの
- ⑩ 鍋もの 汁もの
- 【テーマ別編】各2500円
- ⑪ 春のおかず
- ⑫ 夏のおかず
- ⑬ 秋のおかず
- ⑭ 冬のおかず
- ⑮ 乾物のおかず
- ⑯ 味噌 豆腐 納豆
- ⑰ 魚の漬込み 干もの 佃煮 塩辛
- ⑱ 日本の朝ごはん
- ⑳ 日本のお弁当

別巻 祭りと行事の「ちそう」 3000円